

陰城プンバ祭り (음성 품바축제)



紹介

プンバは、昔貧しかった頃に広場や町内を回りながら食べ物やお金、品物などを物乞いしていた乞食が歌った歌のリピート部分に繰り返し出てきた単語です。特に意味はありませんが、リズムを合わせるため乞食の歌に必ず出てくる単語で、最近では乞食を意味する単語として使われます。しかし最近では本当に物乞いをするのではなく、イベント会場やお祭り、ステージで公演を行うのが大部分です。

毎年陰城(ウムソン)で開催される「陰城プンバ祭り(ウムソンプンバチュッチェ)」では、昔暮らしが大変だった時代を回想し、様々な乞食の公演や暮らしぶりが分かるプログラムで構成されています。陰城プンバ祭りに参加し、様々な公演を見せてくれる乞食は、全国の広場やお祭り、ステージなどで活躍している代表的な乞食です。そのため、全国陰城プンバ祭りは賑やかで楽しい公演と、観客達が爆笑しながら楽しむ姿がお祭り会場のあちこちで見られます。

陰城(ウムソン)プンバ祭りの根幹を成すのは故・崔貴童(チェ・グイドン)さんの人生です。社会福祉施設コットンネは設立者のオ・ウンジン神父が崔貴童さんと出会ったことから始まりました。自分も障害を持つ身でありながら金旺邑無極里一帯を回り食べ物わけてもらい、自力で食べ物を確保することができない人々の面倒をみる彼の献身的な愛に感動したことがきっかけとなりました。

プンバに対する説はさまざまな形で伝えられています。プンバとは、カクソリタリョン(朝鮮時代に成立した民族芸能であるパンソリのジャンルの一つ)のサビに使われる一種の長短(踊り、歌などの速さや調子を主導する拍子)の役割をする擬声語として伝えられてきました。陰城プンバ祭りはプンバと崔貴童さんの博愛精神を融合させたものです。現代を生きていく私たちの暮らしは豊かになったとしても、精神的貧困と不平等が依然として存在します。このような社会を風刺とユーモアで浄化体験し「愛と分かち合いで治癒しなければならない」という命題を持って祭りが誕生しました。陰城プンバ祭りは愛と分かち合いを実践する精神文化祭りといえます。

イベント内容(2023年)

1. メインプログラム：パレード、プンバハウス建てコンテスト、全国プンバラッパーコンテスト
2. 付帯プログラム：ラッパーキャンプ、写真撮影大会、歌謡祭、プンバセレブ選抜大会、全国青少年ダンスパフォーマンス大会、プンバミュージカル、ホームレスに愛と希望を、今日のプンバ、プンバ王liveなど
3. 体験プログラム：プンバのカラク(調子)を学ぶ、プンバ衣装体験など

公演時間

9:00~21:00

期間

2025-05-21~2025-05-25

会場

陰城雪城公園一帯

主管

陰城プンバ祭り推進委員会

主催

陰城郡祭り推進委員会、陰城芸総

住所 [アクセス](#)

チュンチョンブク道ウムソン郡ウムソン邑ソルソンゴンウォンギル28
충청북도 음성군 음성읍 설성공원길 28

ホームページ

<https://pumba.kr/>

お問い合わせ

+82-43-871-3402

利用料金

無料